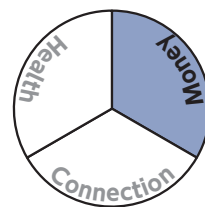
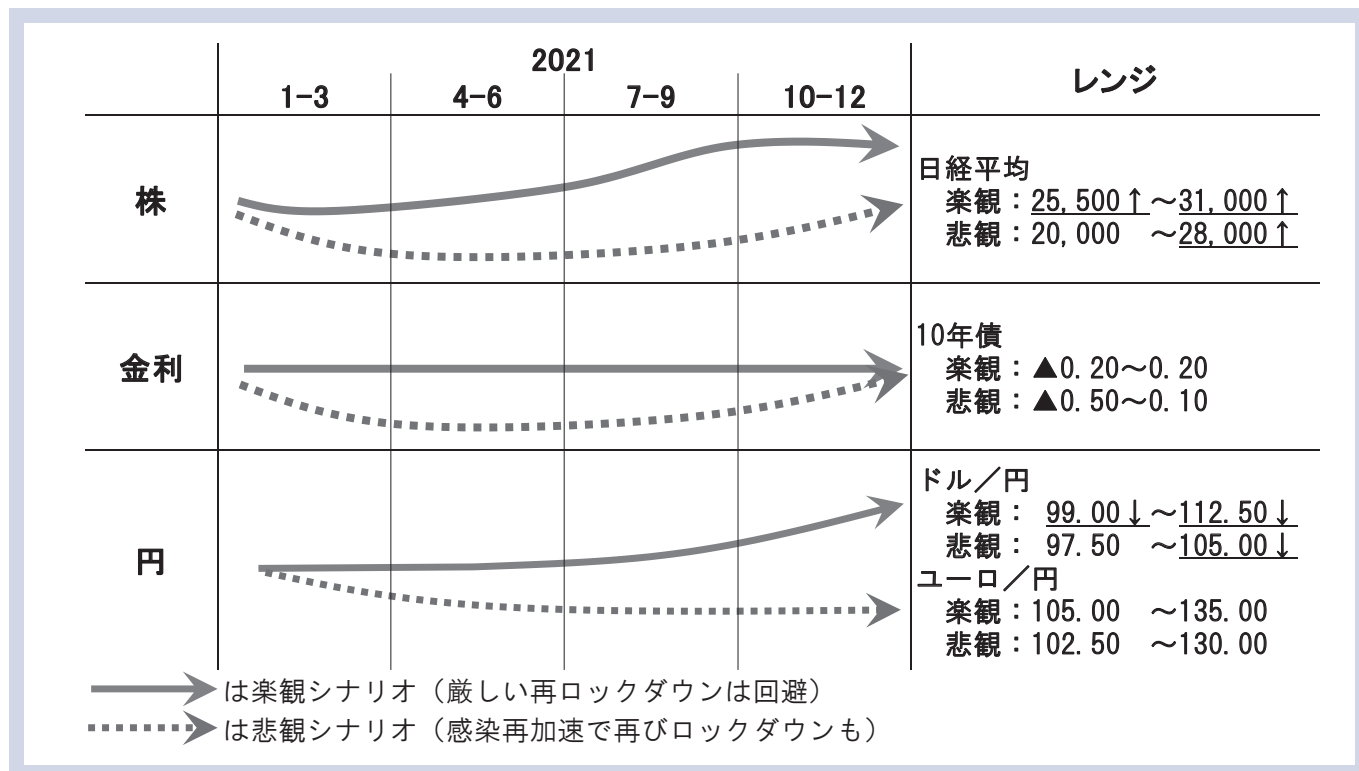


向こう1年間の市場予想 (1月5日時点)



向こう1年間の市場予想イメージとレンジ



予想コメント

	コメント
株式	国内株式は、国内外の新型コロナウイルスの感染動向や景気への影響をにらみながらも、ワクチン普及後は景気回復にも弾みがつくと期待に支えられ、底堅い展開が続こう。主要国中央銀行による大規模な量的緩和策の継続も、株式市場への資金流入に繋がりがやすい要素。
金利	日本経済は、20年春の緊急事態宣言解除を機に底打ちしたと判断されるが、感染沈静化に時間がかかるなか、回復も緩やかで、物価も下落に転じている。日銀は現状の超緩和的な政策を継続する見込みで、金利は低水準での推移が続こう。
円	為替市場では、主要中央銀行の超金融緩和姿勢は長期化すると見込まれ、ドル・円・ユーロの力関係に大きな変化は出にくく、横ばい圏での推移が予想される。ワクチンが普及し、安全性や有効性などに対する信頼が高まれば、相対的に内需が強い米ドルの上昇傾向が目立ってこよう。

(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。レンジについては、前月号から変更した値に下線を引いております。(上方修正: ↑ 下方修正: ↓)